事例No.	1356
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	福島県須賀川市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・消防・防災

事例種類	長寿命化事業

事例内容・タイトル

須賀川市文化センター耐震補強改修工事

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

長寿命化事業（公共施設）②

事業の概要

福島県須賀川市（人口7.7万人）「須賀川市文化センター耐震補強改修工事」

開館以来約40年を経過し老朽化した文化センターについて、耐震補強と劣化改修を実施することで長寿命化を図る。

事業のポイント

- 開館後約４０年を経過した施設の耐震補強や、特定天井の改修を行うとともに、老朽化が著しい内外装や設備機器等の劣化改修を行い長寿命化を図った。



須賀川市文化センター【改修前】

長寿命化



須賀川市文化センター【改修後】

事業実施期間：H30～R2年度
総事業費25.4億円

・施設の耐震補強
・特定天井の改修
・内外装の劣化改修
・設備機器等の劣化改修

建替えと比較し約65億円の事業費の削減

事業の効果

○　公共施設等適正管理推進事業債を活用することで、耐震補強と国費の対象にならない設備等の改修工事を一体的、効率的に実施することができる。

○　本施設は今後30年間の利活用を目指すものであるが、本件の耐震補強と施設改修の費用は約25億円である一方、建替え費用の想定額は90億円以上であり、事業費の削減につながっている。